

事務事業名	障害者の日常生活支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	S44 終了		
H29作成課等名	福祉課	H29係等名	障害福祉係		H28担当課等名 福祉課			
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	34	障害者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	1 自宅に自家用車がない、運転できないなど外出の手段の少ない障がい者 2 障がいがあるため、自宅の浴室やトイレ、台所などが使いにくいと感じている障がい者		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 タクシー利用券を利用して外出し、社会参加の機会を増やす 2 在宅での、日常生活の不便を解消する			在宅の重度障がい児者数(人)	1871		
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合			住宅改修を希望する障がい者数(人)	0		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	助成を受けた人数/在宅の重度障害児者数 (%)		87	82	60	82	
	成果指標	住宅改良事業を利用した障害者数/住宅改修を希望する障害者数 (%)		100	100	100	-	
定性目標								
事業概要	1 障がい者タクシー利用料金助成事業(飯伊圏域で利用したタクシーの乗車料金の一部を助成(年間500円券35枚交付)) 2 重度心身障がい児通院費助成事業(飯伊圏域外の医療機関への入院時に要する交通費等の一部を助成) 3 人工透析患者等通院交通費助成事業(要件(距離・所得)に該当する者へ通院交通費を助成) 4 障がい者にやさしい住宅改良事業(浴室、トイレ等を障がい者が使いやすいように改修に要する経費を助成) 5 障がい者余暇活動支援事業(障害者の余暇活動等を実施する社会福祉法人等に補助金を交付) 6 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成(補聴器購入又は交換に要する経費を助成) 7 障がい児通園施設利用児療育支援(多子保育世帯の負担軽減) 8 補助犬健康管理支援事業(盲導犬、聴導犬の予防接種等への助成) 9 タイムケア事業(介護者レスパイト) 10 車いす利用者入浴支援(ほっ湯アップルのリフト付き浴室の利用料を補助) 11 障がい児者施設訪問看護サービス事業(医療的ケアが必要な障害児に対して行う施設訪問看護サービスに要する経費を助成)							
	28年度事業内容	事業内容		名称			活動指標	
		1 飯田市障がい者タクシー利用券の給付(500円券 35枚→30枚)		1 給付実人数			1 1,038人	
		2 重度心身障がい児通院費助成		2 給付実人数			2 11人	
		3 人工透析患者等通院交通助成		3 給付実人数			3 55人	
		4 障がい者余暇活動支援・重度障がい者外出支援		4 余暇活動を実施した法人数			4 3法人	
		5 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成		5 給付実人数			5 4人	
		6 障がい児通園施設利用児療育支援		6 給付実人数			6 3人	
		7 補助犬健康管理支援事業		7 給付実人数			7 2人	
		8 タイムケア事業		8 給付実人数			8 208人	
		9 車いす利用者入浴者入浴事業		9 延利用者数			9 105人	
10 布団乾燥事業		10 実利用者数			10 5人			
11 訪問理美容事業		11 実利用者数			11 8人			
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		30,503	34,278	22,845	0	(県)地域福祉総合助成金(1/2)		
国庫支出金								
県支出金		6,379	8,444	4,227				
起債								
その他								
一般財源		24,124	25,834	18,618				
人件費計(千円)②		6,654	0	6,654	0			
正規職員所要時間		1,500		1,500				
臨時職員所要時間		1,200		1,200				
総事業費①+②		37,157	34,278	29,499	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		・障がい者の社会参加や経済的負担の軽減を図ることができた。						
改革改善の考え方	①問題点	障がい者施策の扶助費増加に伴い、市単事業の見直しが必要。						
	②改革提案	市単事業の見直しとして、布団乾燥事業及び訪問理美容事業を平成29年度に廃止。						